

と語る会》

8月24日から8月25日の2日間にかけて、本町議会主催による【住民と議会と語る会】を、大崎地区と野方地区で開催いたしました。議会の仕組みや役割について説明をし、その後意見交換を行いました。

【語る会の内容抜粋】

- Q：ふるさと納税は、どの費目でいくらなのか。
A：費目は、寄附金で398万円余りである。
- Q：報告会の放送が無かったが。
A：議会だよりやチラシは配布したが、今後はポスター、放送等で住民に分かるようにお知らせしたい。
- Q：議会を夜間か日曜日にできないか。
A：どちらかで実施できるように、町長に申し入れをしたい。
- Q：図書館のトイレは、高齢者等が使えないが。
A：担当課と協議し、改善した。
- Q：議会だよりは事務局で作っているそうだが、青年団に頼めないか。
A：議会だよりは、広報広聴常任委員会で作成している。
- Q：今回の報告会は、6会場から2会場になったが、何故か。
A：前回6会場で90名位の参加があったが、少ない会場もあり減らした。要望があれば実施していきたい。
- Q：報告会の参加議員は、3〜4人でよいのでは。
A：答弁に専門的な事もあったりするので、全員で参加している。
- Q：議員の活動が見えない。
A：議員は、議会活動と地元での日頃の活動をしている。
- Q：議会は、議会基本条例を制定したが、何か改革をしているのか。
A：議員報酬を5%カットしたり、今回のような報告会も実施している。また、各種行事・会議に参加し、住民の声を聞き、行政に反映している。
- Q：議会の傍聴者はいるのか。
A：最近、傍聴者は少なく、3〜4人である。たまには20人位の団体もある。今後、何らかの対策を考えていきたい。
- Q：一般質問が少ないのは何故か。
A：首長に政策提言するよう啓発している。現在、2〜3人である。
- Q：議会活動報告を個人的に出している議員がいるが、どうか。
A：良い情報提供だと思いう反面、選挙活動ではないかと伝えられたことがある。



大崎中央公民館